

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年5月20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		学習部屋、活動スペース、事務所と各部屋が分かれている、落ち着きたい時等、場所を移動することができる。	スペースに合わせて活動内容を工夫し対応していきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		利用人数に応じ、職員の人数の配置を行っています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子どもが見やすい掲示物や、ケガをしないよう角にはシールを貼ったり、階段には滑り止めを貼り対応しています。	今後も、子どもの目線に合わせた掲示物、ボード、ロッカー等、動線を考えた環境、広く使えるよう今後も工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		各部屋に空気清浄機の設置。毎日の清掃、消毒を徹底して行っています。	今後も徹底して行っています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		臨機応変に活用することができています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		活動目当て、目標を明確化し取り組んでいる振り返りも職員皆で行っています。	今後も職員に周知し取り組んでいきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者アンケート結果を集計し、改善点や嬉しいお言葉等を話し合い、業務改善に繋げています。	今後も職員皆で取り組んでいきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見交換の場を設け、業務改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		外部講師をお招きして、ご意見やアドバイスを頂き業務改善につなげています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		5事業所の研修、外部講師をお招きしての研修を定期的に行っています。	今後も継続して行っています。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		児童の成長に繋がるよう、工夫しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者からのニーズ、アセスメントを頂き職員間での話し合い、課題等をすり合わせ個別計画書を作成し支援に繋げています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援会議を開き、職員間で話し合いを設け共通理解に努めています。	今後も職員皆が参加し話し合い、検討し勧めています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で支援内容を共有し行っています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントツールを活用し、子どもの日々の行動の様子や適応行動の状況を観察し確認を行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		デイサービス計画には「本人支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の内容も踏まえながら必要な支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援支援プログラムの立案を職員間で行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		プログラムが固定化しない様、静・動の活動をバランスよく取り入れています。	今後も活動プログラムが固定化しない様、静・動の活動をバランスよく取り入れ楽しんでもらえるよう工夫していきます。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	個別活動・集団活動をバランスよく取り入れサービス計画を作成し、活動を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	支援開始前に、ミーティングを行い、申し送り等を確認したうえで共通理解のもと、支援を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	支援終了後には残っている職員間で振り返りを行い、気づいた点等を話し合う。翌日のミーティングにて情報共有を行っています。	お休みの職員へは、後日情報共有を忘れずに行っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	体温記録表や連絡帳にて支援記録を残し、気づいた点等を書き、支援の改善につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	定期的にモニタリングを行い、サービス計画見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	選択肢を準備して、自己選択ができる様に配慮したり、自己発信、自己決定がスムーズに行える様支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	サービス担当者会議や関係機関会議には、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	他機関との連携を強化し支援体制を整えて行きたい。	今後も関係機関との連携を強化していきたい。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	引継ぎの際に、学校との情報共有を行っています。 その日の子どもの様子や近況報告を行う。	学校からの案内、年間行事、時間割、下校時間の変更等、情報を頂きながら適宜対応していきたい。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	就学前の児童に対しては、支援会議を行い情報共有と相互理解に努めています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	該当する児童はいませんが、他事業所に移行する際は情報共有を行っています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	研修等を行い、アドバイス、助言を受ける機会を設けています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	長期休みや土曜・祝日に、地域の学童クラブとの交流会を行い、楽しく交流を行う事が出来ています。	今後も継続して交流を深めていきたい。
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		今後、機会が有れば参加していきたい。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	送迎時の引継ぎの際に、その日の様子や課題について申し送り、共通理解に努めている。	申し送りにて、一日の様子をお伝えし、良かった事、課題等共通理解を持って関わっていきたい。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	講師をお招きしての研修会、ペアトレーニングや相談会を開催し参加して頂いています。	今後も色々な機会を設け案内していきたい。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担額等について、きちんと説明を行っています。	今後も丁寧な説明を心がけていきたい。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	サービス提供をする際には、子どもや保護者の意思を尊重し、話し合いの中で子どもや家族の意向を丁寧に聞き進めています。	今後も丁寧な対応を心がけていきたい。
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	保護者様にデイサービス計画書の読み合わせの際、丁寧に説明を行い同意を得ています。	今後も丁寧な説明を心がけていきたい。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	連絡帳のやり取りの中で、保護者からの相談、悩みを書いてくださる事もあります。 その際は個別に、即対応をしています。	今後も保護者様に寄り添い、助言等を行っていきます、またペアトレや保護者会等のご案内も合わせて行い、支援に繋げていきたい。

保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	ゆんたく会を開き、こどもたちの様子や保護者が不安に思う事などを話し合ったり、親子や兄弟参加のゲームを行ったりと、交流の場を設けています。	今後も、ご家族、保護者様が気兼ねなく参加して頂けるよう、スタッフ一同、力を合わせ取り組んでいきたい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	苦情ボックスの設置、苦情窓口の説明を丁寧にお伝えしています。	苦情があった場合は、丁寧、迅速な対応を心がけていきます。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	HPにて活動概要、行事予定等を定期的に発信しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	「個人情報の取り扱いの注意」の読み合わせを行い、書類等は鍵付きロッカーにて保管しています。	今後も個人情報取り扱いには十分配慮し、周知徹底していきたい。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	こどもの目線に合わせた話し方、保護者の立場になって、申し送り等も配慮し行っています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	近隣の老人ホームや学童との、交流イベントは恒例行事となっています。	今後も継続し、交流を深めていきたい。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	各種マニュアルを策定し完備。発生を想定した訓練を行い、安全確保に繋げています。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	毎年決まった回数の訓練を行っています。災害防災グッズを常備。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	契約時、アセスメントシートにて確認を行う。変更等が有れば情報共有を行っています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	現在はアレルギー対象者はおりませんがアセスメントシートを活用し情報を確認しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	安全計画書をもとに、安全確認、危険個所の補強、対応を行っています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	事業所内で定期的にヒヤリハット研修を行い記録を残しています。事例検討を行い、再発防止に努めています。	今後も事例検討を行い、職員間で共有し再発防止に努めています。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	第三者委員会の設置、法人研修・事業所内研修を行い、虐待防止に努めています。	今後も研修内容を周知していき、安全、安心な支援に繋げていきたい。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	契約時に丁寧な説明を行い、了解を得て個別支援計画書に記載しています。	